アート・カルタを楽しもう

―読み札から連想して、作品をさがそう！―

ねらい　・読み札から受ける言葉のイメージを意識して、あてはまる作品を見つける。
・様々な作品に親しみながら、自分のお気に入りの作品を見つける。

準備物　・〈アートカードみえⅠ〉または〈アートカードみえⅡ〉をグループ数分
・読み札
・筆記用具
・ワークシート
・作品名、作者名一覧表

場の設定　・アートカードを並べることができるスペース
・１グループ５～６人程度

評価　・楽しんでゲームに参加することができたか。（関心）
・選んだ作品の良さについて、自分の考えをもつことができたか。（鑑賞）

★ワークシート例★

名前（　　　　　　　　　　　　　　）

めあて　「アート・カルタを楽しみ、自分のお気に入りの作品を見つける」

●お気に入りの作品は？

●その理由は？

●他にも、気になった作品は？

●今日の学習の感想を書きましょう。

アート・カルタを楽しもう

―読み札から連想して、作品を探そう！―

★授業展開の例★

	学習活動	指導のポイント
	●アートカードでカルタ取りをすることを知る。	○読まれた言葉をよく聞いて、イメージに一番ぴったりの作品を探すゲームであることを伝える。 ○学習の終わりに、自分が一番気に入った作品を選ぶことを知らせる。
	・配られたカードをすべて表向きにして並べながら、自由に鑑賞する。	○グループごとに〈アートカードみえ〉を１セット配る。
	・ルールを決める。	○お手付きや同時に複数人がカードを取った場合等のルールを決めておく。
	●カルタ取りゲームをする。	○リーダーが読み札を読み上げる。 ○正解のカードを見せ合い、作品の印象を共有する。 ○指導者は別のカードを取った子どもに対しても言葉かけを工夫する。 ○あらかじめ読み札を何枚か抜いておき、取ったカードの枚数を競うだけでなく、
	・取ったカードをもう一度場に戻す。	
	●お気に入りの作品を１点選び、ワークシートに記入する。	○ワークシートと作品名一覧を配布する。
	・カルタ取りの感想を書く。	○時間があれば交流の場を設ける。
	●後片付けをする。	○カードは上下（裏表のシール位置）の向きをそろえ、番号順に並べて返却させる。